

定期報告

2011年5月20日(金)

氏名:西村宜朗(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

07:00 朝食

08:00 周辺の視察と朝のチームミーティング

08:45 藤川医師チームと救護所の朝のミーティング

09:00 午前診療開始

11:30 診療終了、昼食準備

12:00 第6次派遣隊との引き継ぎと昼食

13:30 大槌高校出発

18:00 弘前到着

避難所住民との会話より

我々は、持参したミネラルウォーターを飲用していたので気がつかなかったが、水道水は地下水をくみ上げており、津波被害で海水が混ざっているためコーヒーにクリームが溶けにくいという話を聞いた。集団で下痢の発生もなく、健康面の問題は起きていないと思うが、おいしい水道水の供給再開が望まれる。

今回で2度目の大槌高校での支援だったが、2週間位の間での風景の変化には驚かされた。前回は瓦礫の撤去も全く先が見えないと感じていたが、予想外の早いスピードで撤去が進んでいた。しかし、海岸付近に行くと水面と港の堤防の高さが同じになっているなど、まだまだ人が住める状況には程遠かった

避難所の皆さんは一見元気そうに過ごしていた。被災していない農家の手伝いに出たり、山菜を採りに行ったり、イベントを企画し参加したりしていた。一方、夜になるとずっと救護所のベンチで泣いている女性もいた。震災がもたらした心的なダメージの復旧はまだまだかかるだろう。

私たち第五次派遣隊は皆無事に今回の支援を終えることができた。これも藤川医師をはじめ、はちのへ99クリニックの皆さんのお陰だ。皆さんのチームワークと明るい雰囲気を支えられ充実した日々が送れたと思う。本当にありがとうございました。また、私たちを送り出してくれた町田アンド町田商会の皆さん、支援しやすい状況を作ってくれた前任の支援隊の皆さん本当にありがとうございました。

氏名:石山郁弥(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

07:00 朝食

08:00 周辺の視察を兼ねた町田アンド町田商会チームミーティング

08:45 藤川医師チームと診療カンファレンス

09:00 午前診療開始

11:30 診療終了、昼食準備

12:00 昼食

12:30 引き継ぎ

13:30 大槌高校出発

18:00 弘前到着

OTC 常備薬の救急箱は避難者自治会組織の改正があるとのことで、どのように管理するかは決めることができなかった。中嶋薬剤師チームに管理方法を確定するよう引き継ぎした。釜石災害対策本部で配布されていた近隣医療機関の地図が見にくいとの意見があったので、視察時に撮影した医療機関の写真と地図を組み合わせカラーA2サイズで作成。ずいぶん見やすくなったとの意見がありうれしかった。

私たち第五次派遣隊は、支えてくれた皆さんのおかげで20日に無事支援活動を終了することができた。

19日夜中に廊下で泣いている避難者がいた。ちょうど19日午前に薬を渡した方だった。

投薬時の話では、地震当日は盛岡にいて、テレビで津波のことを知ったが大槌に帰ると家はなかったそう。息子とは1週間ほど連絡が取れなかったが無事で、身内で亡くなった方はいないとのことだった。

20日の朝に、「昨日はすみませんでした。思い詰めることがあって」と声をかけてくれた。

泣いていた時、声をかけて話をもう少し聞いてあげたら、何らかの手助けが出来たのではないかと帰りの車の中で考えてしまった。

氏名:葛西 豊誠 (総務担当)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

06:30 朝食準備

07:00 朝食

08:00 町田チーム朝のミーティング

08:45 診療所ミーティング

09:00 大槌高校周辺の土採取

10:00 昼食準備、掃除

11:30 中嶋隊を出迎え

12:00 藤川医師チームと昼食。

12:30 りんご3箱・米1箱・ジュース1箱を給食室責任者の佐藤さんへ
給食室の職員さん撮影

13:00 八木橋総務へ引き継ぎ

14:00 八木橋総務、曾我看護師と現地視察

16:00 大槌高校着

16:20 釜石へ出発 総務は食材の調達

18:50 大槌高校帰着

19:00 夕食

滞在が一日延長となった。

引き継ぎの心配もあったので、よかった。

役に立てるかわからないが、現地の土を採った。

採取場所 ①建物解体跡地の土

②河川の近く

③民家、枯れた庭木の土

④畑のヘドロの下の土

大槌高校の近くで、野菜苗を売っている個人商店を見つけた。

総務として、医師、看護師、薬剤師の後方支援を頑張った。